

### 1. 授業の基本情報

本授業の目的は、社会学理論の基礎を学習し、近代社会の成り立ちについて理解すること、次に、近代社会が内包する積極的側面と消極的側面について、現在の社会問題とかかわらせて考えることである。

本授業の到達目標は、現代社会の在り方が、近代化の過程で生ずるさまざまな社会変化によって形成されてきたことを理解すること、そして社会変化とは、具体的にどのような現象であったのか理解し、現代社会の諸問題と結び付けて議論することができることとして設定した。

3 回生以上を対象とする社会学Ⅱは、2 回生以上を対象とする社会学Ⅰを履修したのちに履修する。社会学Ⅱの合格者は、4 回生以上を対象とする社会学Ⅲの履修ができる。

2014 年度の本授業は、履修者数 27 名であった。内訳は社会科教育専修、人間社会デザインコース、その他、教育学専修、技術教育専修、特別支援、生活環境の学生である。授業開始時に出席を確認し、授業終了 10 分前をめどにコメントペーパーを配布して、受講生の理解度を把握することに努めた。これにより、遅刻者のチェックも厳密に行うことができた。実質の受講者は 26 名であり、毎回の出席率は約 90 パーセント～70 パーセントであった。授業スケジュール中、1 コマ分で中間ふりかえりのディスカッションを行った。

### 2. 授業評価・授業研究の内容

授業評価について、自由記述方法で学生に授業に対する意見やコメントを書くように A5 の様式(記名式)を配布した。第 9 回目の「現代社会の読み方⑤ 現代社会の病理－現代社会と社会的性格」の授業時に、この記名式授業評価を実施した。出席した学生による記述の一部分を以下列記する。

- 就職活動をしていると、どうしても自分の強み・弱みを書き出さないといけない。宮台氏の言うような「風景の一記号としてまったりと生き」ていた大学生活の中から、自分とはなにかを見つめなおす必要があります。
- 分からない言葉を、そのままにして読む、使

うという行為は、私はよくやってしまう。今日の講義で、私が「学んできた」ようで「学んでいなかった」ということを痛感してしまった。わからないことをそのままにする習慣が体に染み付いてしまっていることを理解した。そんな自分が先生になろうとしていることが大変なことに感じたし、これから、自分のその癖が治るのかも不安になった。意識的ではなく、無意識的な行為だということに大きな問題がある。

- 言葉、単語の意味を分かった気で遣っていることは大学生ながら多々あると思います。私もレジュメを作りながら文献から意識することなく丸々文章・単語を写してしまったりしてしまいます。就活をしながら、給料は安くてもいいからしんど過ぎない仕事がいいなと思えますが、実家暮らしで苦勞をしていないからだとつくづく感じます・・・。

(小括) 授業を通して、学生の将来に直接かかわる現代社会の問題として、とくに労働問題に関連付けた解説を行ったが、コメントペーパーには各受講生で理解度の差が表れていた。次の授業で、補足説明を行ったが、毎回の授業において、より丁寧に直近の官庁データや新聞記事等の資料を示しつつ、社会学の先行研究との関連を分かりやすく解説することを、次年度、より徹底したいと考えている。

### 3. 「授業外学習の促進」について

シラバスで提示したとおり、毎回の授業では、A3 サイズのレジュメを 2 枚程度配布し、解説事項ごとに関連文献の書誌を明示した。また、データの出典、後悔されている動画の URL を明示し、受講者の時間外学習を促進するように工夫を行った。これらの時間外学習を通じて、さらに社会学に対する興味・関心を深めた学生が、対面、またはメールによる質問を行う等、効果が確認された。

書籍、資料等の活字よりも動画を提示する方が、学生の興味・関心が深まりやすい傾向がみられた。今後、活字資料の重要な部分を印刷し配布する等、とくに「読む力」を育む工夫に努めたいと思う。